



佐印川排水路は、県営ほ場整備事業「本成寺地区」(S52～S53)により、現在の切梁式鋼矢板護岸に整備されました。

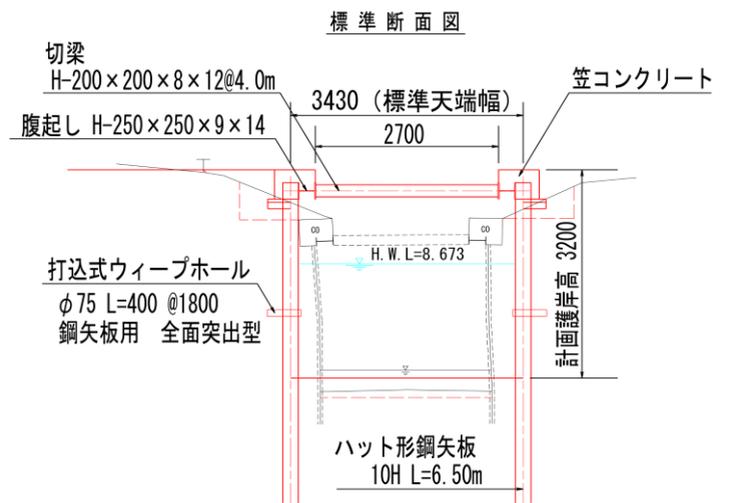
平成22年度に切梁の取替工事を行うなど、これまで維持管理に努めてきましたが、近年は鋼矢板護岸の傾斜や亀裂等の進行による漏水がみられ、土砂流出による地上部での陥没等も見られ危険な状況となっていました。更に、護岸が崩落した場合、人的被害を含む甚大な被害が生じる恐れもありました。

このため、本事業により排水路の改修を行うことで、排水機能を確保すると共に公共施設等への被害を未然に防止し、農業生産の維持と生活基盤の保全に資することができます。

《 主要工事計画 》

施設名	項目	工事内容	事業量	構造
佐印川排水路		排水路改修	485m	切梁式鋼矢板水路

現在の水路の外側に新しい鋼矢板を打ち込み。古いものは撤去します。



工事の過程



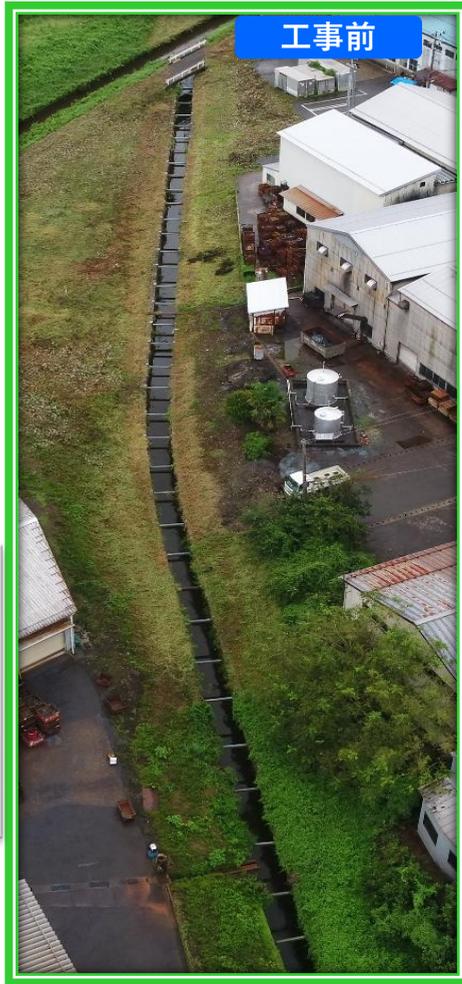
矢板打設



切梁・腹起し



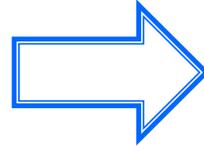
既設護岸撤去



工事前

工事方法

現在の水路の外側に新しい鋼矢板を打ち込み、古いものは撤去します。



工事後



笠コンクリート



完了

工事風景



ライナープレート組

ライナープレート3段目 (Aリング) 設置状況



CABAパネル設置

CABAパネル上段 設置状況



間詰めコンクリート打